

CEFR-J レベル A2.2
技能 Spoken Production
Can Do descriptor 一連の簡単な語句や文を使って、意見や行動計画を、理由を挙げて短く述べるができる。
テスト・タスク あなたは、学校で留学生との交流クラブに入っています。このクラブでは、月に一度交流会を開き、留学生との交流を深めています。今日は、次の交流会で何をするか、みんなで話し合いをしています。そこで、リーダーより次のような問いかけがありました。 “What will we do for our next event? We have three choices: a day trip to a countryside, a lunch party, and a sports event. Choose one of these three activities and explain why you think it is good for our next event.” あなたはこの問いかけにどう答えますか？ざっくりばらんな話し合いの中で発言していると想定して、英語で話してください。準備時間は3分、話す時間は1分です。
解答例 - Let's go on a day trip to a countryside. There is a beautiful river in ○○, so if we have lunch there, it will be refreshing and relaxing. Also, it will be fun to show our lunch to each other. I will bring a rice ball, <i>onigiri</i> in Japanese. We often eat it when we go on a picnic, so I want you to try it.
採点基準 A: 3つの選択肢のうち、どれが良いと思うかはっきりと示せる。更に、柔軟性をもって効果的な具体例や詳細を盛り込みつつ説得力のある理由を説明できる。複数人での話し合いの中での意見表明として必要十分な流暢さがある。 B: 3つの選択肢のうち、どれが良いと思うかはっきりと示せる。更に、ある程度効果的な例示や補足情報を加えながら、妥当な理由を簡単かつ明確に説明できる。自然な頻度での言い淀みもあるが、聞き手の理解に支障が出る程のたどたどしさはない。 C: 具体性や詳細度に欠けるものの、自分の選択とその理由の概要を話せる。文法や語彙の不適切な使用により内容や前後のつながりに不明瞭な点がある。やや頻繁な言い淀みや沈黙があり、意見表明としては内容・印象共に弱い。 D: 意見表明としては内容が断片的すぎる。文法や語彙の不適切な使用により不明瞭な点が多い。頻繁な言い淀みや沈黙があり、制限時間のごく一部でしか話していない。あるいは何か話すものの、自分の選択とその理由の関連が弱い。 (A：当該レベルより上、B：ちょうど当該レベル、C：当該レベルに少し届かない、 D：当該レベルに全く届かない)
開発段階 第1期（作成） 第1期（実施） 第1期（分析） 第2期（改訂） 第2期（実施） 第2期（分析）
メモ 話し合いの中でのやや独立した発言なので、スピーチほどのきっちりした構成や高い論理性や流暢性、厳密な時間遵守を求めすぎなくてよい。内容が十分で約40秒以上話せていればAもしくはB評価とする。なお解答例を理解できる程度の発音で話せれば、B評価である。
開発担当者 和泉 絵美